

施策名 事務事業名	委員会	提言での方向性	施策主管課・事務事業担当課	事務事業での対応		提言への対応状況(施策は考え方や計画・特筆すべき事項について、事務事業は事業計画と予算内容について記載)	H27 当初予算 (単位:千円)	H28 当初予算 (単位:千円)	予算科目 款-項-目-細目-細々目	一般会計 予算書 掲載頁
				事業規模	予算					
情報共有の促進	総務									
広報番組制作放送事業	総務	やり善方	広報情報課	現状維持	現状維持	・いいだFMが実施したアンケートでは、「いつも聴いている」という常聴性は8%と回答がありました。ビデオリサーチが実施している首都圏全局(NHK、民放、FM)の聴取率は6%で、常聴性という面ではいいだFMは、一定の役割を果たしているものと判断しています。 ・いいだFMのホームページは、平成27年8月に刷新され、市の取組等を担当者がわかりやすく解説する番組、市議会各委員会からの報告を委員長が解説する番組、お知らせを外国語で放送する番組の計3番組を聴けるようにしました。 ・また、飯田市ホームページからは、市長が最近の話題や市政に関して語る番組を聴けるようにしました。 ・さらに、飯田下伊那のニュースや話題を取り上げる好番組(毎朝7:40の飯田・下伊那ニュース)があるため、毎月の広報いいだ(15日号)においてケーブルニュースと併せてPR記事を掲載し、聴取率向上のための告知を行っています。 ・番組審査委員会等に出席するとともに、常に番組編成担当者との連絡を密にして、放送内容の向上に努めています。平成28年4月の番組改編に合わせて、放送する時間帯の組替え等効果的な情報発信になるよう取り組みます。 ・事業、予算は、過去の事業費削減による番組内容の精査を実施した上で、現状維持とします。	33,167	33,167	2-1-2-10-2	94
良質な行政サービスの提供	総務		人事課	-	-	・施策全体の総合的な評価として、「ある程度進んだ」としているが、目標の達成状況については、進んでいるとは評価しづらい。 ・上位政策「市民と共に進める行政経営」を実現するために、何が問題であって、何をしようとしているのかがはっきりしない。 ・「サービス業のプロ」という発想には違和感がある。 ・市民の満足度をどのように把握するかが課題である。 ・研修参加の職員アンケートの満足度指標は自己満足であって、成果として現れるべき「職員の資質の向上」は市民が判断することである。	-	-	-	-

施策名	委員会	提言での方向性	施策主管課・事務事業担当課	施策及び事務事業に対する議会の提言	事務事業での対応		提言への対応状況(施策は考え方や計画・特筆すべき事項について、事務事業は事業計画と予算内容について記載)	H27当初予算(単位:千円)	H28当初予算(単位:千円)	予算科目款-項-目-細目-細々目	一般会計予算書掲載頁
					事業規模	予算					
職員研修事業	総務	やり改善 り方	人事課	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員研修会に参加する職員の割合は年々低下しており、研修のテーマ、やり方に改善が必要である。</li> <li>成果指標は、研修参加の職員アンケートによる満足度で判断するべきでない。</li> <li>頻発する交通事故や違反の対策のための研修が必要である。</li> <li>他機関への派遣研修や民間との交流研修についても検討されたい。</li> </ul>	見直し・改善	現状維持	<ul style="list-style-type: none"> <li>各研修の実施に当たり、研修が効果的・効率的なものとなるよう研修形態の見直しを行いながら、参加職員の割合も高めていきます。</li> <li>交通安全に関する研修は、平成28年度も引き続き自動車学校での自動車安全運転研修を実施します。</li> <li>他機関等への派遣については、平成28年度も前年度と同様の職員派遣を予算化し、実施します。</li> </ul>	15,449	15,046	02-01-10-11-01	110
効率的、効果的な行財政運営	総務										
入札、契約業務	総務	やり改善 り方	財政課	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題としてきた「総合評価落札方式」については検証のまとめを行い、改革を進められたい。</li> <li>必要であれば県で実施している「電子入札制度」を検討すべきである。</li> <li>より多くの業者が参加し、公平な入札、落札ができるよう早急に検討されたい。</li> </ul>	見直し・改善	現状維持	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合評価落札方式は、試行状況を分析し改善策を検討して、平成28年度からの制度運用へ反映させます。</li> <li>県の電子入札方法や県内他市の取組状況も参考に課題等を整理して検討を進めます。</li> <li>更なる入札制度の改善に向け、関係者(建設業協会等)とも意見交換をしながら、より公平で公正な仕組となるよう研究していきます。</li> </ul>	5,720	5,120	2-1-3-10-1	94
行政評価システム運営事業	総務	やり改善 り方	企画課	<ul style="list-style-type: none"> <li>行政評価も8年を経過する中、マンネリ化が危惧され、施策の評価は、事務事業との関連が反映されているとは言えない。</li> <li>成果指標には妥当性を欠くものもあり、指標のあり方を徹底的に見直しなければPDCAサイクルを回すことはできない。</li> <li>改革提案に「引き続き検討する」という表記が多くあるが、これは改革提案とは言えない。</li> <li>次年度に生かされるシステムと言えるか疑問である。</li> </ul>	見直し・改善	現状維持	<ul style="list-style-type: none"> <li>第5次基本構想基本計画の進行管理は、各事務事業が上位施策を押し上げ、政策を実現していく新たな仕組みとして取り組み、一定の成果を上げてきましたが、一方で指標のあり方などの点に課題があることも明らかになってきました。</li> <li>現在、次期総合計画を策定中ですが、その進行管理については、第5次からの経験を踏まえた新たな仕組みとなるよう検討を進めています。</li> </ul>	0	0	ゼロ予算	-

施策名 事務事業名	委員会	提言での方向性	施策主管課・事務事業担当課	施策及び事務事業に対する議会の提言	事務事業での対応		提言への対応状況(施策は考え方や計画・特筆すべき事項について、事務事業は事業計画と予算内容について記載)	H27当初予算 (単位:千円)	H28当初予算 (単位:千円)	予算科目 款・項・目・細目・細々目	一般会計 予算書 掲載頁
					事業規模	予算					
市民参画による協働の促進	総務										
総合的な空き家対策事業	総務	拡大	ムトスまちづくり推進課	・条例が制定されたが、所有者としての責任が根本にあることを確認する必要がある。 ・「管理不全対策と跡地利用の支援」といったこの条例の効果を見ていく必要がある。 ・「空き家化の予防と活用・流通の促進」といった観点では、予防措置として重要であり、羽場地区での活動などを参考に全市に展開されたい。	拡大	拡大	・空き家の管理については、所有者が責任を持って行うことが前提であり、空き家対策計画の基本的な考え方の中で所有者の責務について強調して記載しており、所有者をはじめ住民等に広く啓発していきます。 ・全20地区のまちづくり委員会と協働し、管理不全対策となった空き家だけではなく、活用できるものも含めた空き家調査を行う予定です。活用できる空き家については、所有者への意向調査を経て、空き家バンクに登録いただけるよう取組を進めます。	1,939	7,749	2-1-5-10-9	98
中山間地域振興の推進	総務										
地域振興住宅整備事業	総務	現状維持	ムトスまちづくり推進課	・やり方改善の意見も多くあったが必要な事業でもあり、現状維持とした。 ・建設地の確保のための支援を行うと共に、空き家対策との連携も検討されたい。	現状維持	縮小	・既存市有施設改修については、希望が少ないため予算を縮小します。 ・新築については、現状を維持し、中山間地区の定住者を増やします。 ・建設地の確保については、課題と認識しており、中山間地域連絡会議で情報共有を図るなど支援していきます。空き家活用については、総合的な空き家対策事業の進捗状況に合わせ連携を図ります。	113,320	110,200	2-1-5-15-5	100
交流による高付加価値化・国際化の推進	総務										
大学とのネットワーク構築事業	総務	やり方改善	企画課	・大学間のネットワーク構築は進んでいると判断するが、フィールドスタディだけでなく、大学の知見が地域にどのように生かされているかを成果として表す必要がある。 ・大学の知見、研究成果が地域に生かされ、人材育成や定住につながるような仕組みを構築されたい。	現状維持	現状維持	・大学との連携による事業成果については、学輪IID Aのウェブサイトや機関誌等を通じて積極的に発信します。また、学輪IID Aウェブサイトの情報発信機能の更なる充実を図ります。 ・大学の知見を人材育成に生かすため、現在取り組んでいる高大連携による人材育成事業を更に発展させます。また、水引をはじめとする地場産業の振興や、地方創生の実現に向けた地域課題の解決など、地域振興に大学の知見、研究成果をいかすため、地域のニーズと大学の専門性をつなげる取組を、関係機関との連携のもと更に推進します。	3,709	3,497	2-1-9-11-5	106

施策名 事務事業名	委員会	提言での方向性	施策主管課・事務事業担当課	施策及び事務事業に対する議会の提言	事務事業での対応		提言への対応状況(施策は考え方や計画・特筆すべき事項について、事務事業は事業計画と予算内容について記載)	H27 当初予算 (単位:千円)	H28 当初予算 (単位:千円)	予算科目 款-項-目-細目-細々目	一般会計 予算書 掲載頁
					事業規模	予算					
リニア推進事業	総務	やり改善 り方	リニア推進課	・リニア推進ロードマップの3本柱のうち柱2の「社会基盤整備関連」は、本事業と切り分けて進めることは良いが、柱3の「戦略的地域づくり」も見方が異なり、本事業と区別すべきである。 ・ブランディング事業とプロモーション事業とも連携しながら推進されたい。	見直し・改善	拡大	・柱3に関連する事業については「リニア地域づくり推進事業」を新設し、リニア推進事業と区別します。 ・特に情報発信に関しては、プロモーション事業とも連携し、事業を推進します。	115,158	109,903 (推進事業) 9,300 (地域づくり事業)	2-1-17-10-1 2-1-17-10-3 2-1-17-10-6	118 120
交通機関と道路の充実	総務										
市民バス等運行事業	総務	現状維持	リニア推進課	・人口減少が進む中、利用者が増加していることについては、評価できる。 ・路線ごとの検証をし、市民ニーズを取り入れることで、より一層効率的な運用に努められたい。	現状維持	現状維持	・バス運賃見直しによって、利用者数も順調に伸びています。路線ごとの特性を分析しつつ、バス、乗合タクシー、JR飯田線を効率的に組み合わせた運行に努めます。	99,038	98,917	2-1-9-15-01	108
地域情報・課題の相互理解の推進	総務										
自治活動組織加入促進支援事業	総務	やり改善 り方	ムトスまちづくり推進課	・組合加入については、防災、減災の視点からの働きかけも必要とされ、長年の課題となっている。 ・現状を見る中で、加入する必要性を感じない、または負担に感じる世代も散見される。 ・世代別の加入状況のアンケート調査などから、意識改革を更に進めるのか、あるいは組合に頼らない手立てについて検討されたい。	現状維持	現状維持	・アンケートの結果から、組合への加入手続きや活動自体を知らない未加入者の方も多くみられるため、コーディネーター活動やリーフレット作成に対し引き続き支援を行います。 ・役員や行事参加への負担感から加入されない方も多く、未加入者だけでなく受け入れる側も含め負担感を減らすための方策や意識改革、他の有効な手段がないか等の検討を進めます。	1,200	1,200	2-1-5-10-5	96

施策名 事務事業名	委員会	提言での方向性	施策主管課・事務事業担当課	施策及び事務事業に対する議会の提言	事務事業での対応		提言への対応状況(施策は考え方や計画・特筆すべき事項について、事務事業は事業計画と予算内容について記載)	H27 当初予算 (単位:千円)	H28 当初予算 (単位:千円)	予算科目 款・項・目・細目・細々目	一般会計 予算書 掲載頁
					事業規模	予算					
自然とのふれあいと環境学習の推進	総務										
地域環境活動支援事業	総務	やり改善 り方	環境課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の組み立て段階から検討不足と判断する。</li> <li>・25年度からの問題点の改善もなく、市民団体や事業所の活動が見えない。</li> <li>・このままでは事業のあり方を問われる。</li> </ul>	見直し・改善	現状維持	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境意識は、環境学習への参加者が平成23年度32,963人、平成26年度37,765人と年々増加し、向上していると判断します。この意識改善を市民団体、事業所等を含めた幅広い分野の活動に反映するかを課題として、事業の組み立てを検討します。</li> <li>・環境アドバイザー制度の見直しを行い、幅広い分野での拡大を目指します。学習会等では、具体的な意識改革、実践につながる内容に取り組み、人材の確保と継承に取り組みます。</li> </ul>	841	806	04-01-05-15-02	208
廃棄物の減量と適正処理	総務										
家庭生ごみ分別収集推進事業	総務	現状維持	環境課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状において多くの問題点があり、縮小の意見が多くあったが、事業としては来年度縮小ということにもならないので、現状維持とする。</li> <li>・事業が開始された当初と社会情勢も変化しており、市内の一部地域に約1,500万円の事業費を投じるには問題がある。</li> <li>・事業の見直しを行い、新しい方向性を検討されたい。</li> </ul>	現状維持	現状維持	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当該事業は、家庭から排出される生ごみを堆肥の材料として資源化しているほか、桐林クリーンセンターへ搬入される水分の多い生ごみを抑制してほしいという要請にも応えており、燃やすごみの多くを占めている生ごみの排出量の抑制に効果を発揮しています。</li> <li>・当該事業の方向性については、現行のごみ処理体制の一つのサービスとして定着している現状を踏まえる中で、対象地区住民の理解をはじめ、事業を取り巻く状況や費用対効果などを考慮し、基本方針の決定を行います。</li> <li>・平成29年12月(予定)から南信州広域連合が建設する新焼却場の稼働に伴い、施設の受け入れ条件をはじめ、ごみの分別内容が大きく変更されるため、このタイミングに合わせて方針決定を行うことが好機と考え、平成28年度は現状維持します。</li> </ul>	13,527	13,527	04-02-01-10-05	214

施策名	委員会	提言での方向性	施策主管課・事務事業担当課	施策及び事務事業に対する議会の提言	事務事業での対応		提言への対応状況(施策は考え方や計画・特筆すべき事項について、事務事業は事業計画と予算内容について記載)	H27当初予算(単位:千円)	H28当初予算(単位:千円)	予算科目款・目・細目・細々目	一般会計予算書掲載頁
					事業規模	予算					
不法投棄対策事業	総務	やり改善	環境課	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民への周知、意識の高揚を図るよう行政はもっと主体性をもって対処されたい。</li> <li>不法投棄の件数・量の減少という、この事業の成果を明確にするとともに、不法投棄されやすいものの特別回収を検討されたい。</li> </ul>	見直し・改善	現状維持	<ul style="list-style-type: none"> <li>不法投棄に関する法令及びポイ捨て等防止市民条例における行政の役割(地区への支援、周知など)を果たしていきます。地区等と協働し、様々な手法を取り入れるとともに、改善や工夫を行いながら不法投棄の防止、環境美化の取組を継続します。</li> <li>不法投棄の件数や量を現状把握のための目安とし、地域の皆さんをはじめ多様な主体による環境美化活動の量を成果とします。</li> <li>不法投棄されるもの多くは、生活ごみです。現状において、生活ごみは、ごみ集積所等や直接搬入により相当の経費と手間をかけて収集・処理しているため、特別回収の機会を設けることは難しい状況にあります。ポイ捨て等防止市民条例の下で環境美化活動を進める中で、効果的な方法を検討します。</li> </ul>	12,113	11,881	04-02-01-11-02	214
社会の低炭素化の推進	総務										
もりのエネルギー利用推進事業	総務	現状維持	環境モデル都市推進課	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象が市民となっているが、木質バイオマス機器の導入には价格的、季節的な課題がある。</li> <li>活用は公共施設や事業者に重点を置かざるを得ない現状がある。</li> <li>域内燃料を使ってCO<sub>2</sub>の削減をするという目標を明確にされたい。</li> </ul>	現状維持	現状維持	<ul style="list-style-type: none"> <li>現状では、公共施設での活用をメインにせざるを得ない状況にあります。</li> <li>昨年度まで地域内の賦存量調査及び考察を実施し、将来的に活用可能な目標数値を算定しましたが、目標実現のためには、木質バイオマス資源の調達や流通にも課題がある点が明らかになっています。</li> <li>ペレットストーブ等の需要を地道に増加させつつ、新たな創出も含めて、木質バイオマス燃料からのCO<sub>2</sub>削減量の目標値を明確にし、実効的な木質バイオマス資源の利用推進につなげていきます。</li> </ul>	6,885	7,252	4-1-5-19-4	210

施策名	委員会	提言での方向性	施策主管課・事務事業担当課	施策及び事務事業に対する議会の提言	事務事業での対応		提言への対応状況(施策は考え方や計画・特筆すべき事項について、事務事業は事業計画と予算内容について記載)	H27 当初予算 (単位:千円)	H28 当初予算 (単位:千円)	予算科目 款・項・目・細目・細々目	一般会計 予算書 掲載頁
					事業規模	予算					
省エネルギー推進事業	総務	現維持	環境モデル都市推進課	<ul style="list-style-type: none"> <li>市全体の温室効果ガス削減量では市民意識を高めるような具体的な指標とは言えず、市民の関心も高まっていない。</li> <li>成果指標もこの事業による成果を示しているとは言えず、具体的な省エネ住宅改修件数などすべきである。</li> </ul>	見直し・改善	拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成27年度に、建設部を中心に庁内プロジェクトで低炭素住宅(ネットゼロエネルギービル=ZEB、ネットゼロエネルギーハウス=ZEH)について、市内の建築士有志の方も一緒になって研究を実施しました。</li> <li>平成28年度は、飯田市の気候風土にふさわしいモデルを構築し、平成29年度には、具体的な住宅改修促進に寄与するよう研究を継続することとし、そのための予算を計上しました。</li> <li>成果指標を「省エネ住宅改修件数」等にする場合は、この研究の進捗に合わせて検討していきます。</li> </ul>	138	743	4-1-5-19-7	210
新エネルギー推進リーディング事業	総務	拡大	環境モデル都市推進課	<ul style="list-style-type: none"> <li>上村の小沢川における小水力発電の事業の研究について、ここまでの地道な取り組みを集約し、早急に「再生可能エネルギーの導入による持続可能な地域づくり条例」に基づく事業認定を行い、地域と共に実効性を上げるべきである。</li> </ul>	現状維持	拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>本事業は、再生可能エネルギーの活用による持続可能な地域づくりのための重点事業と位置付けており、市として積極的な支援を継続します。具体的には、発電のための水利権取得に不可欠な流量実測経費や、取水を予定している治山堰堤の構造調査経費等、事業を推進する上で必要な経費を計上しました。</li> <li>国においては、小水力発電事業における現行の固定価格買取制度の課題(買取価格が単年度分しか公表されず事業者側から見た事業予見性が低いこと、また、買取価格算定上の建設単価が実際の単価とかい離していること等)を解決するため、平成29年度を目途に制度変更する方向で検討が開始されています。</li> <li>事業者にとって現行より有利な制度に改善される見通しであることから、市として、国の検討状況を注視しつつ、再生可能エネルギー導入支援審査会で協議し、条例による認定も見据えて事業進捗を図っていきます。</li> </ul>	6,349	10,548	4-1-5-19-5	210
災害対策の推進	総務										
災害情報等提供システム整備事業	総務	やり方改善	危機管理室	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の安全安心という観点から、多くのシステムで対応することは重要である。</li> <li>緊急告知FMラジオシステムの導入を検討されたい。</li> </ul>	拡大	拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>緊急告知FMラジオについては、平成28年度に、告知するためのシステムを導入する予定です。緊急告知ラジオの頒布等は、今後検討します。</li> <li>また、遠山地域におけるコミュニティFM中継局の設置事業に取り組みます。</li> </ul>	1,649	34,049	9-1-5-10-1	304

施策名	委員会	提言での方向性	施策主管課・事務事業担当課	施策及び事務事業に対する議会の提言	事務事業での対応		提言への対応状況(施策は考え方や計画・特筆すべき事項について、事務事業は事業計画と予算内容について記載)	H27 当初予算 (単位:千円)	H28 当初予算 (単位:千円)	予算科目 款-項-目-細目-細々目	一般会計 予算書 掲載頁
					事業規模	予算					
災害対策事業	総務	やり改善方	危機管理室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災無線の運用については、市民から聞き取りにくいとの苦情が多数寄せられており、また、老朽化の問題も指摘されている中、実質的な進展が見られない。</li> <li>・緊急性のあるテーマで拡大という意見もあったが、拡大するための基本計画が定かでない。</li> <li>・緊急時に一人でも多くの市民に情報提供できるように、更新計画を早期に策定されたい。</li> </ul>	拡大	現状維持	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同報系防災行政無線の更新については、平成25年度に基本調査を終えており、平成29年度に実施設計を行い平成34年11月までに所要の更新を終える予定です。</li> </ul>	0	0	9-1-5-10-1	304
消防団運営事業	総務	やり改善方	危機管理室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長年の懸案事項となっているが、該当する人口の減少ばかりでなく、意識も変わってきている。</li> <li>・啓発活動もこの点を踏まえ、女性消防団員を視野に入れた、制服の検討、トイレの改修などの検討も必要である。</li> <li>・正規団員の確保は重要であるが、企業の消防組織やOBとの連携についても検討を深める必要がある。</li> </ul>	見直し・改善	現状維持	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防団員確保対策については、次年度から5カ年計画である第11次消防力(消防団)整備計画にて、女性部(女性参画)、広報部(消防団専用ホームページの新設)、機動救助隊(広域災害対応及び自主防災会の指導)などを設け活動の充実と拡大を図り魅力ある消防団活動をもって行います。</li> <li>・組織については支援団員制度の拡充及び学生分団等の設置に向けて取り組みます。</li> </ul>	186,751	183,320	9-1-2-11-1	302